

経営比較分析表

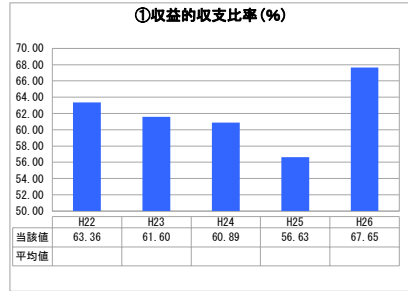
岐阜県 安八町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	98.30	88.44	3,240

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,248	18.16	839.65
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
14,936	4.82	3,098.76

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



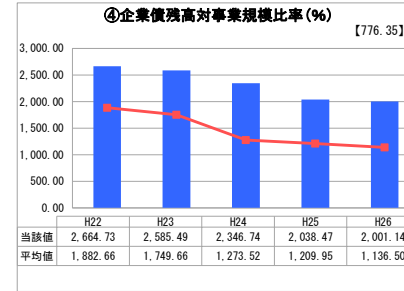
「単年度の収支」



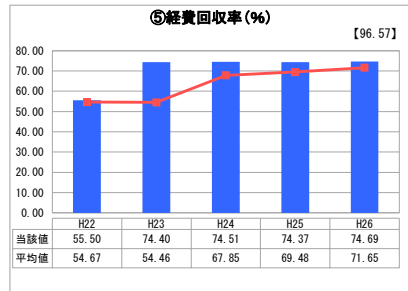
「累積欠損」



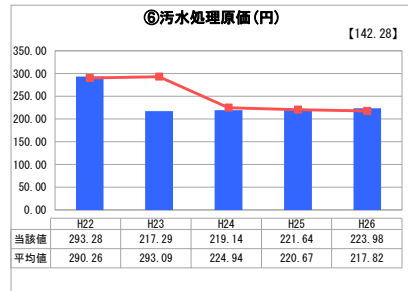
「支払能力」



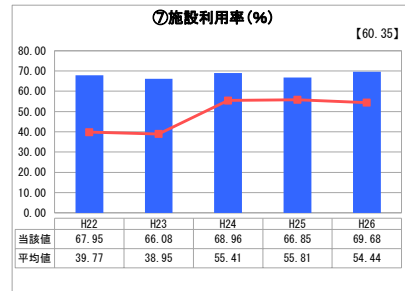
「債務残高」



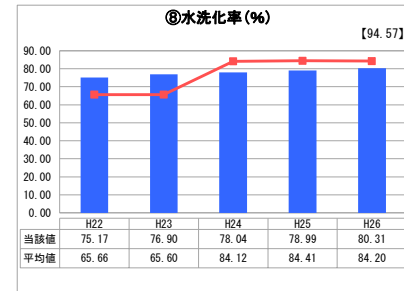
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

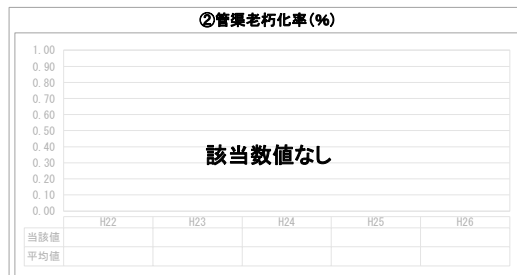


「使用料対象の捕捉」

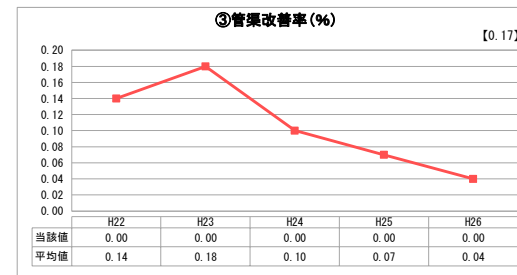
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の現状としては、収益的収支比率及び経費回収率が100%に満たず、企業債残高対事業規模比率も高水準である。
この要因としては、過去の下水道面整備工事が事業規模に対して短期間で施工を行ったためであり、自主財源を捻出出来ずに財源を企業債借入れに頼ったためである。
その企業債償還金及び利息が下水道事業経営を圧迫している。
このことにより下水道事業経営の健全性は、非常に厳しい状況である。
そのため下水道事業特別会計を公営企業会計に移行し、中長期的な視野を持って経営を行わなければならない。
また、自主財源を増加させるため水洗化率の向上も急務である。

2. 老朽化の状況について

現状としては、平成9年供用開始のため、管路が比較的新しく、更新の必要は当面発生しない。
また、処理場についても長寿命化計画を策定しライフサイクルコストの縮減に努めている。
ただし、平成42年から管路が法定耐用年数を迎えるため、今後管路の点検を行い老朽化の状況を把握し、適切で効率的な修繕を行うことが重要であり、またその財源確保も課題である。

全体総括

経営の現状としては、多額の企業債償還のために非常に厳しい状況である。
そのため今後、水洗化率を早急に向上させ使用料収入を増加させ、長寿命化計画に基づいた効率的な修繕を行い、費用の面で維持管理費の削減を行い、また効率的な投資方針を決定し、汚水処理原価を減少させる必要がある。

そのため、投資方針の見直しや下水道使用料改定を視野に入れ会計全体を抜本的に見直す必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。